

経営比較分析表（平成30年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 上五島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透未訓	救臨感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	13,954	非該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
132	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	186
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
132	50	182

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

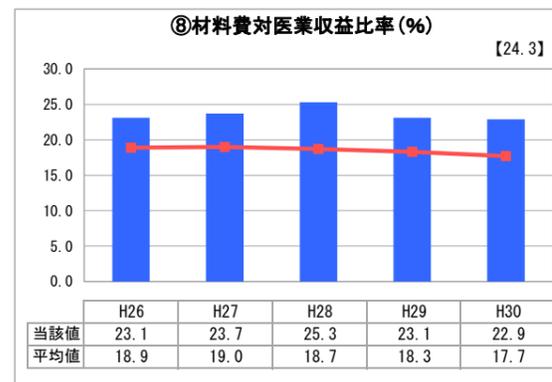
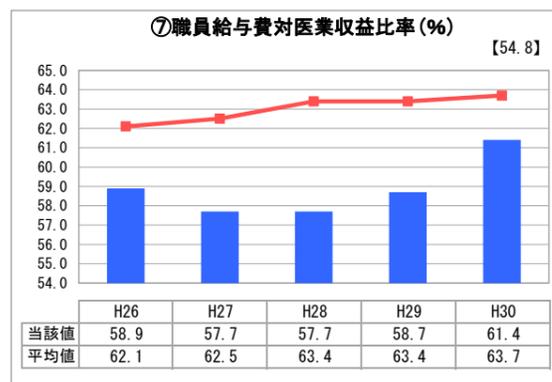
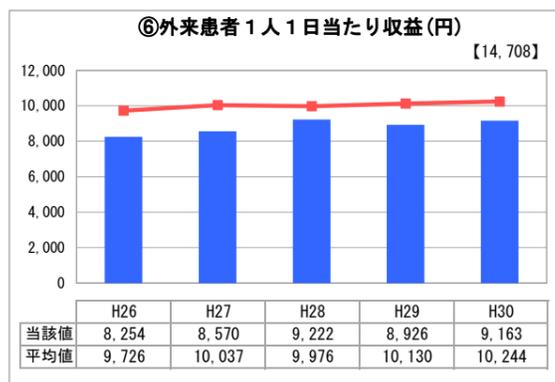
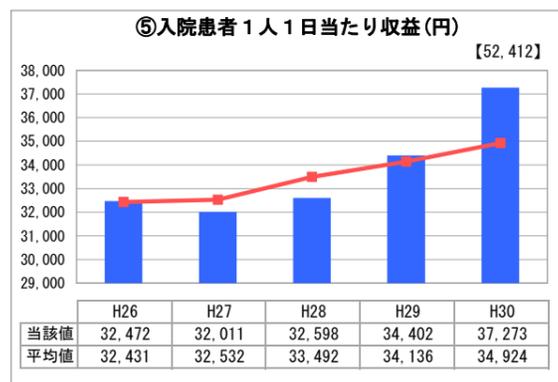
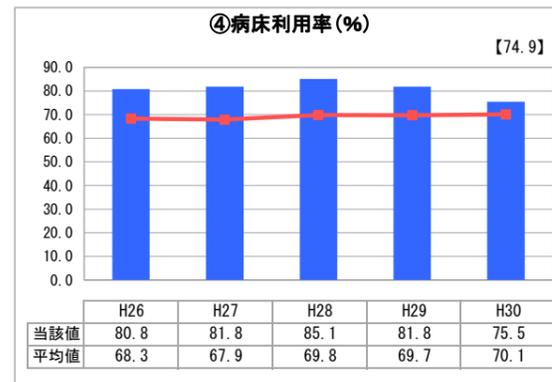
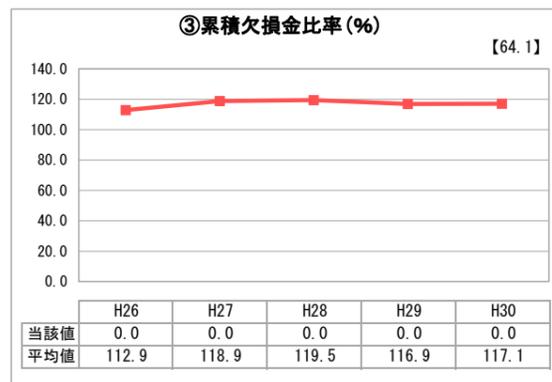
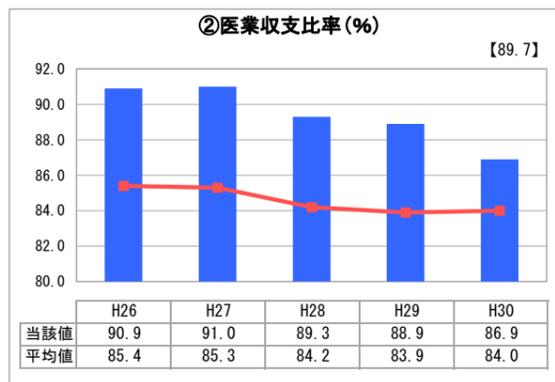
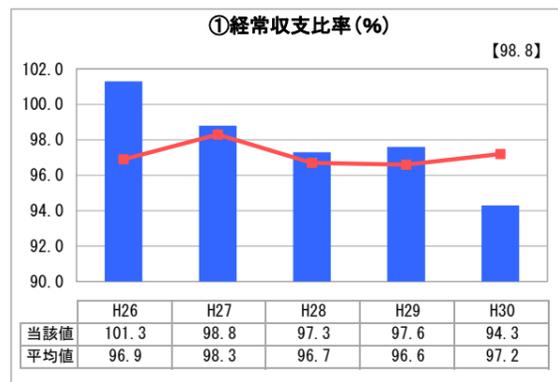
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

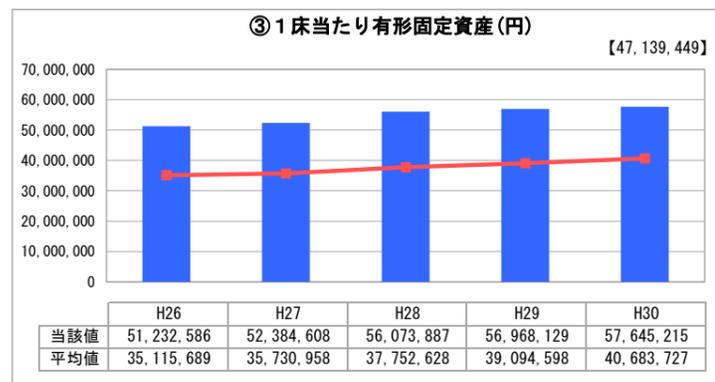
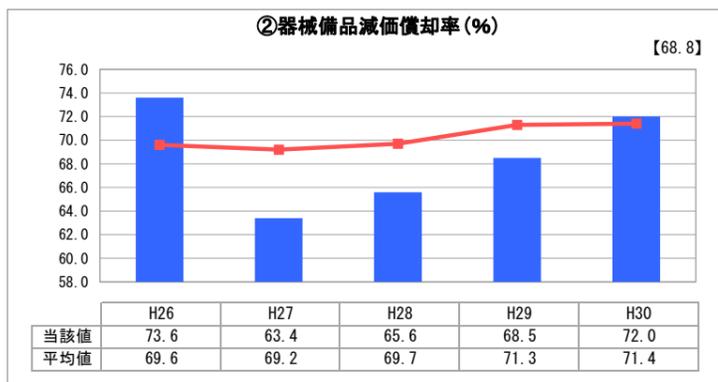
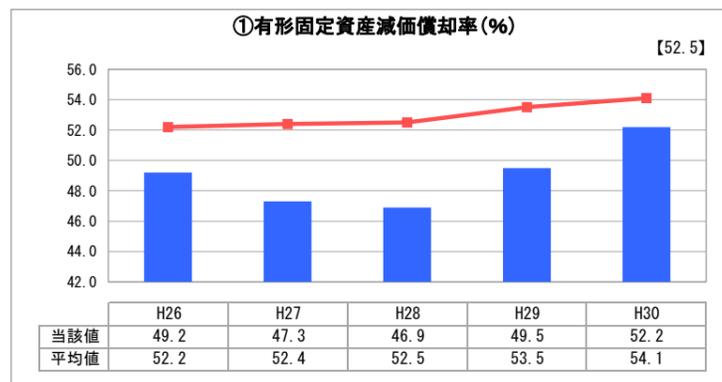
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成26年度	-年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療を提供している。
地域のニーズに合った病床機能への転換を行うとともに、基幹病院と附属診療所のそれぞれの医療機能の特徴を活かし、地域に信頼される安定的でより良い医療を目指している。
行政、他医療機関、介護施設等との連携を密にして地域医療・ケアの充実に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は昨年度よりも悪化し、過去5年間で初めて類似病院の平均を下回った。医業収支比率も平均値を上回っているものの昨年度よりも2%減少した。これは労働時間の適正把握により職員給与費、特に医師給与費が増加したことが主な要因である。
収益面では平成30年4月からDPC病院となったことと、地域包括ケア病床を増床したことにより入院患者1人1日当たり収益は大きく増加した。
病床利用率は平均値を例年上回っているが、平均在院日数の短縮による延患者数の減少の影響もあり昨年度よりも6.3%減少している。

2. 老朽化の状況について

当院は昭和61年に建築されており、これまで改修・増築工事を行ってきた。有形固定資産減価償却率・器械備品減価償却率ともに、増加傾向にある。
1床当たり有形固定資産については例年平均値を上回っており、経年劣化が著しい器械の更新や、この地域の二次医療までを担っていくための設備整備が必要であり、また業務効率化を図るための新規の器械導入を行ってきたためである。今後も過大投資とならないよう、経営状況を考慮しながら計画的に設備投資を行っていく必要がある。

全体総括

平成30年度は、人件費や減価償却費の増加が大きく影響し前年度よりも収支が悪化した。今後も医師を始め医療スタッフ確保のための費用や修繕・減価償却費が引き続き負担となることから、厳しい経営状況が続くと思われる。可能な限り各種経費の削減に努めるほか、業務改善により人員の適正配置について検討する等、組織全体で収支改善に取り組んでいく必要がある。
人口減少・高齢化の影響もあり、患者数は減少傾向にあるが、地域住民の需要に応えながら医療の充実を図りつつ、患者数の確保・経営の健全化を目指していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。